

案

令和4年 月 日

本庄市教育委員会
教育長 下野戸 陽子 様

本庄早稲田の杜ミュージアム運営委員会
委員長 佐々木 正峰

本庄早稲田の杜ミュージアムの事業評価及び学校法人早稲田大学との
事業継続について（答申）

令和4年5月9日付け本教文発第24号により、本庄市教育委員会より本庄早稲田の杜ミュージアム運営委員会に諮問がありました「本庄早稲田の杜ミュージアムの事業評価について」及び「学校法人早稲田大学との事業継続について」につきまして、本庄早稲田の杜ミュージアム運営委員会において慎重に審議を重ねた結果を下記のとおり答申します。

記

（1）本庄早稲田の杜ミュージアムの事業評価について

新型コロナウイルスの影響が長期化する中での開館にも関わらず、多くの来館者を得るなど期待度も高く、地域の文化拠点として認知が広がっています。開館以降、企画展示をはじめ、ワークショップや講座などの教育普及事業が積極的に行われ、参加者から高い満足度を得るなど、事業の充実が図られてきたものと評価いたします。しかしながら、展示の多言語対応や展示に対する来館者評価の実施など、必須な取り組みに対しても課題は残されています。今後も本庄早稲田の杜ミュージアムが目指す姿の実現、さらには博物館活動の充実が図られるよう、改善や見直しを行うとともに、地域に欠くことのできない施設となるよう期待します。

（2）学校法人早稲田大学との事業継続について

事業継続を望みます。市と早稲田大学双方の所蔵資料を活用することで展示にバリエーションをもたせ、充実した事業が展開できています。今後は展示事業のみならず、早稲田大学との共同運営という強みを生かし、連続講座の開催や共同研究に取り組むことで市民や研究者の調査研究に資する活動に期待しています。早稲田大学との事業を継続することで、実り多い継続的な研究、来館者や市民に対する学習・啓蒙機会の充実などをより発展的に実施していくことを希望します。